

令和8年9月29日
防災危機管理課
担当 藤原、谷口
TEL 0852-22-6461

令和8年度日米共同統合演習に係る航空自衛隊美保基地での活動について

中国四国防衛局から、別添のとおり情報提供がありましたのでお知らせ
します。

なお、美保基地において、当該演習に伴う米軍機の着陸はありません。

詳細については、下記までお問い合わせください。

記

1. 問い合わせ先

中国四国防衛局 総務部 報道官

(電話) 082-223-7109



JAPAN JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

(お知らせ)

令和8年9月29日
統合幕僚監部

令和8年度日米共同統合演習 「Keen Sword 27」について

自衛隊と米軍は、下記のとおり令和8年度日米共同統合演習を実施します。
本訓練は、強固な日米同盟に基づき、日米の共同統合運用能力の維持・向上を図るものです。
本演習を通じ、自衛隊と米軍は、地域の平和と安定に積極的に貢献するための態勢と能力を維持・強化していきます。

記

1 演習の目的

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米の共同統合運用能力の維持・向上を図る。

2 実施時期

令和8年10月19日（月）～10月29日（木）

3 実施場所

- (1) 自衛隊施設並びに在日米軍施設及び区域
- (2) 民間空港及び港湾
- (3) 我が国の公有地及び民有地等
- (4) 我が国周辺海空域

4 統裁官

- (1) 自衛隊 : 統合作戦司令官 海将 俵 千城
- (2) 米 軍 : 太平洋艦隊司令官 海軍大将 ステファン・ケーラー

5 主要訓練項目

- (1) 統合防空ミサイル防衛訓練
- (2) 共同統合対艦戦闘訓練
- (3) 陸上作戦訓練
- (4) 海上作戦訓練
- (5) 航空作戦訓練
- (6) 水陸両用作戦訓練
- (7) サイバー攻撃等対処訓練
- (8) 情報戦訓練
- (9) 統合通信訓練

- (10) 宇宙状況の把握等に関する訓練
- (11) 統合電磁波作戦訓練
- (12) 統合後方運用訓練
- (13) 機動分散運用訓練
- (14) 重要施設等防護訓練
- (15) 実証実験

6 実施部隊等

(1) 自衛隊

ア 幕僚監部等

統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部及び情報本部

イ 陸上自衛隊

陸上総隊、各方面隊等

ウ 海上自衛隊

自衛艦隊、各地方隊等

エ 航空自衛隊

航空総隊、航空支援集団等

オ 共同の部隊

統合作戦司令部、自衛隊情報保全隊、自衛隊サイバー防衛隊、自衛隊海上輸送群等

(2) 外国軍隊

ア 米 軍

太平洋軍、太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍、太平洋海兵隊及び在日米軍

イ 豪 軍

国防軍統合作戦本部等

ウ その他

加軍、仏軍、独軍、蘭軍、新軍、比軍

7 演習参加規模（自衛隊）

人員約45,000名、車両約6,100両、艦艇約40隻、航空機約260機

8 その他

日米共同統合演習は昭和60年度に開始され、おおむね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しており、実動演習は今年度で18回目である。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習参加部隊・実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

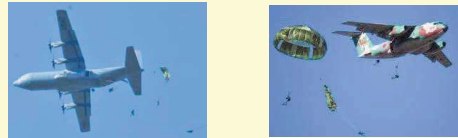
演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦



空挺作戦



海上作戦



統合防空ミサイル防衛



共同統合対艦戦闘



その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
- 重要施設等防護（基地警備等）
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



鳥取県内で実施を検討している訓練内容 共同統合対艦戦闘

航空自衛隊の戦闘機部隊等が四国沖で実施される共同統合対艦戦闘に参加し、それぞれの対処要領について演練します。あわせて、航空自衛隊の航空機が美保基地へ展開します。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～10月29日（木）（事前に準備期間を設定）

【参加部隊】 航空自衛隊：警戒航空団

【美保基地】 人員約30名、RC-2電波情報収集機×1機、車両器材等

※ 訓練期間前後及び期間中、人員及び装備品等の輸送のため、輸送機（C-130H又はC-2）の運航を計画する可能性があります。

訓練イメージ



美保基地



RC-2電波情報収集機
（入間基地所属）

- ①四国沖での訓練前、美保基地に展開
 - ②四国沖での訓練終了後、美保基地へ帰投
- ※期間中、1日1回の運航を計画しています。
なお、夜間の運航は計画致しません

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

鳥取県内で実施を検討している訓練内容 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）

航空自衛隊の高射部隊が、総合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、美保基地において機動展開訓練を実施します。なお、実弾の使用はありません。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～10月29日（木）（事前に準備期間を設定）

【参加部隊】 航空自衛隊：中部航空方面隊 第4航空団（人員約30名、車両約15台）

訓練予定場所



※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

鳥取県内で実施を計画している訓練内容 統合電磁波作戦訓練

統合電磁波作戦訓練は、四国沖で実施される共同統合対艦戦闘等に連携して行われます。

①航空自衛隊入間基地所属の航空機が、航空自衛隊美保基地に機動展開する予定です。

②陸上自衛隊の電磁戦部隊が、陸上自衛隊米子駐屯地において、電波状況の確認等を実施します。なお、本訓練では電波の収集のみであり、実際に電波を発射する予定はありません。

【期 間】 令和8年10月22日（木）～10月29日（木）

【参加部隊】 航空自衛隊入間基地所属 電子情報収集機「RC-2」×1機

陸上自衛隊陸上総隊：約10名（車両（NEWSを含む。）×3両）

訓練予定場所

（鳥取県）

航空自衛隊
美保基地

陸上自衛隊
米子駐屯地

四国沖

展開する主要装備品



航空自衛隊 電子情報収集機「RC-2」



陸上自衛隊 NEWS※

※ NEWS: Network Electric warfare System（ネットワーク電子戦システム電波の収集等を実施